

横須賀アメスカフェスタで募集活動



会場の様子

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長：松浦一海尉）は、5月20日（日）、横須賀市にあるうみかぜ公園で開催された「アメスカフェスタ」にて募集活動を実施した。

このイベントは横須賀青年会議所主催で実施されたもので、陸上自衛隊で活躍する高機動車、偵察オートバイを始めとする車両を展示、また陸上自衛隊高等工学校による和太鼓演奏等が行われ、大勢の来場者で賑わった。

今回は、地本ブースにて陸上・海上自衛隊及びご制服の試着を行い、多くの子供連れの家族に対し、広報官による海上自衛隊制服についての説明を交えながら写真撮影の支援をした。また、募集活動では進路の一つとして自衛隊を考えている募集対象者には、募集制度の説明及びアンケート等を実施し、広報官にも熱が入った。その他に行なわれた潜水艦クイズでは、潜水艦見学の応募も兼ねていることから、大人から子供まで真剣になるほど大いに盛り上がった。ブース内は多くの来場者で賑わい、自衛官のイメージアップと神奈川地本の活動の情報発信に努めた。

横須賀地域事務所は、「今後も、機会を捉え募集広報活動を積極的に行うとともに、自衛隊の活動に関する啓蒙を推進していく」としている。

第15回大船まつりで広報



「たま」との写真撮影会



陸上自衛隊第1音楽隊のプラカードを掲げパレードに参加した「たま」

神奈川地方協力本部 藤沢募集案内所（所長 鳥津准陸尉）は、5月20日（日）鎌倉市大船において開催された「第15回大船まつり」に広報ブースを設置し、募集広報活動を実施した。

「大船まつり」は、大船駅周辺の活性化とまちづくりの推進するために開催されている。各イベントは、藤沢地区募集相談委員会副会長が先導を務め、鎌倉女子大中等部マーチングバンドを先頭に鎌倉市長、ミス鎌倉等と続くパレードには、陸上自衛隊第1音楽隊が参加した。今回のパレード来場者は、1万人以上で大船まつりへの来場者数が公式発表9万6千人となり大盛況となった。

藤沢募集案内所は、「大船まつり」での広報活動は今回で5回目となり、募集相談員の協力を得て募集説明コーナーを開設した。神奈川地本のキャラクター「たま」も出動し、今回から開催された「ゆるキャラ大会」に参加し、パフォーマンスの実施及び来場者との記念写真撮影を行い、自衛隊の広報活動と地域住民との交流を図った。

藤沢募集案内所は、「今後も各担当地域におけるイベントに積極的に参加し、地域との交流を図り募集成果の向上を目指したい」としている。

夏の志願者獲得へ自衛官の制服姿に黄色い声援



衣笠駅前にて市街地広報

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 松浦一尉）は5月24日（木）、25日（金）の2日間で横須賀市内にあるJR線で最も乗車人数が多いJR衣笠駅周辺において市街地広報を実施した。

今年度の高校生志願者を獲得するため学生の通学時間に合わせ、自衛隊をアピールする迷彩柄のティッシュケースの中へイベントチラシを折り込み、配布した。両日とも晴天に恵まれ、所長を始めとする総出でのティッシュを精魂込めて配り続けた。

通学中の慌ただしい時間にもかかわらず、広報官が笑顔で学生へ挨拶をすると元気よく応対してくれた。女子高校生の集団からは「迷彩服と制服姿がかっこいいですね!」との声もあり、広報官のやる気のみなぎっていた。

その中の一人は「今、高校1年生ですが3年生になったら自衛官を希望します」との意見もあり、暑さをも吹き飛ばす広報官の熱意ある募集広報に、より多くの通学途中の学生や、通勤者に自衛隊のアピールをすることができた。

横須賀地域事務所は「今後も、学生を中心とした募集広報活動を積極的に実施するとともに、自衛隊の活動に対する横須賀市民等の理解と関心を高めるため、これからの時代を担う自衛官の募集に努めていく」としている。